

報道関係者各位

メタリアルグループのSTUDIO55、三建設備工業、Reviztoの3社が協力体制を構築
VR・AR技術による建設現場のBIM活用促進に向けたモデル現場での検証を実施
建設現場の生産性向上と品質確保に貢献を図る

株式会社メタリアル(本社：東京都千代田区、代表取締役：五石 順一)グループで、CG・VR・BIMを用いたプレゼンテーション・デザインサポートを提供する株式会社STUDIO55(本社：東京都渋谷区、代表取締役：木村宏樹、以下、STUDIO55)は、このたび三建設備工業株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役社長：松井栄一、以下、三建設備工業)およびRevizto SA(本社：スイス・ローザンヌ、CEO：Arman Gukasyan、以下、Revizto)と、施工図 BIM の VR(仮想現実)および AR(拡張現実)化による施工管理手法の確立に向けた協力に関する協力体制を 2025年7月1日に構築しました。

本協力体制により、3社はそれぞれの専門知識と技術を持ち寄り、建設現場におけるBIM 活用を一層進化させ、生産性向上と品質確保に貢献してまいります。



報道関係者各位

・ 協力体制での主な取り組み

1. VRを活用した施工図の事前確認

今回の協力体制では、施工図BIMをVR空間で活用する手法の確立に注力します。具体的には、3D空間にアバターとして入り込み、機器類やバルブなどの位置関係を身体的な感覚でチェックすることを可能にします。特に、バルブのハンドルの向きなど、使い勝手に直結する要素は、従来のモニター上での3D画面では事前の確認が困難でした。REVIZTOのゲームエンジンを基盤とした優れた3D処理能力は、この課題解決に大きく貢献すると当社は確信しており、これがREVIZTOを採用した理由の一つでもあります。VRによる事前確認は、現場での手戻りや再加工を削減し、施工品質の向上に繋がります。

2. ARを活用した現場情報の可視化

ARの活用では、建築図面ではBIM化しづらい、あるいは記載されていない情報（仮置き材料、仮設用足場、構造図にない補強材、スライディングウォール用指示材、天井吊りモニターの天井内指示材、隠蔽シャッターボックスなど）を、現実空間と施工図BIMとを合成することで仮想的に事前チェックすることを可能にします。これにより、現場での予期せぬ調整や手配を減らし、工程の円滑な進行を支援します。

3. 共同検証とフィードバック体制

三建設備工業は、実際の建設プロジェクトにおいてこれらのVR・AR技術の検証を行い、その結果をREVIZTOおよびSTUDIO55にフィードバックすることで、改善のためのウィッシュリストアップや運用方法の改善提案を共同で行ってまいります。3社が連携し、BIMを核とした次世代の施工管理手法を確立することで、建設業界全体のデジタルトランスフォーメーションを牽引していく所存です。

■ ニュースリリース

三建設備工業様のプレスリリースは[こちら](#)

■ 本件に関する問い合わせ

株式会社STUDIO55
ソフトウェアプラットフォーム事業部 事業部長
藤麻 貴博
080-3439-5522
fujima@studio-gogo.com

報道関係者各位

■三建設備工業について

三建設備工業株式会社は東京都中央区に本社を置く総合設備工事会社です。空調設備、衛生設備、電気設備をはじめ、幅広い分野での施工実績を有しており、先進技術を活用した品質の高いサービスを提供しています。今後もお客様のニーズに応え、社会のインフラを支える企業として、さらなる成長を目指しています。

■Reviztoについて

Reviztoはスイスに本社を置く建設業界向けの統合コラボレーションプラットフォームのリーダー企業です。独自のゲームエンジンベースの技術を活用し、世界80カ国以上の建設プロジェクトにおいてBIMデータの高度な可視化とリアルタイム共有を実現しています。Reviztoは、VR・AR技術を駆使した直感的で効率的な施工管理を支援し、建設業界のデジタルトランスフォーメーションを牽引しています。

■株式会社STUDIO55について

「Support Your Design」で世界中のデザインに見える化し、地球と社会と人々の心に優しさと豊かさ創造していきます
をPURPOSEとし、クライアントの皆様の『デザインデータに見える化』『建設・建築データに見える化』『仮想現実の見える化』＝メタバースの実現に取り組んでいる。

■メタリアル・グループについて

「世界中の人々を場所・時間・言語の制約から解放する」を企業ミッションとし、翻訳市場において国内市場シェアNo.1※に位置している。(※出典：ITR「ITR Market View：対話型AI・機械学習プラットフォーム市場2024」翻訳市場：ベンダー別売上金額シェア(2024年度予測))
法務・医薬・金融・化学・IT・機械・電気電子など、2,000分野に対応。顧客ごとの課題解決・未来創造を目的とした完全カスタマイズAI開発サービスを提供している。
AI開発実績：翻訳AI、四季報AI、広報AI、製薬会社向けAI、ゲームローカライズAI等

【業績影響】株式会社メタリアルにおける業績への影響は軽微です